



## 平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月11日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 丸栄

コード番号 8245 URL <http://www.maruei.ne.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 京極 修二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長

(氏名) 渡邊 克哉

TEL 052-264-1211

定時株主総会開催予定日 平成25年5月23日

有価証券報告書提出予定日 平成25年5月23日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期の連結業績(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期	26,106	△3.4	264	△45.3	95	△47.8	△421	—
24年2月期	27,036	△16.8	482	△5.2	182	△13.7	367	—

(注) 包括利益 25年2月期 △421百万円 (—%) 24年2月期 956百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年2月期	△3.24	—	△2.1	0.2	1.0
24年2月期	3.65	—	2.0	0.4	1.8

(参考) 持分法投資損益 25年2月期 54百万円 24年2月期 39百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期	46,901	20,188	43.0	155.44
24年2月期	48,196	20,611	42.8	158.69

(参考) 自己資本 25年2月期 20,188百万円 24年2月期 20,611百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年2月期	837	△208	△712	1,264
24年2月期	646	192	△1,009	1,347

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,700	0.4	200	87.6	120	219.0	30	—	0.23
通期	26,200	0.4	450	70.3	270	183.6	110	—	0.85

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期	130,368,887 株	24年2月期	130,368,887 株
② 期末自己株式数	25年2月期	486,597 株	24年2月期	480,327 株
③ 期中平均株式数	25年2月期	129,885,197 株	24年2月期	100,725,717 株

(参考)個別業績の概要

平成25年2月期の個別業績(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期	24,275	△3.1	△75	—	104	△53.2	△401	—
24年2月期	25,052	△6.6	59	—	223	9.4	235	—

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円 銭		円 銭	
25年2月期	△3.09		—	
24年2月期	2.34		—	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
25年2月期	44,152		19,294		43.7		148.55	
24年2月期	45,315		19,697		43.5		151.65	

(参考) 自己資本 25年2月期 19,294百万円 24年2月期 19,697百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.経営成績(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	4
3. 経営方針	4
4. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 継続企業の前提に関する注記	14
(6) 追加情報	14
(7) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
5. 個別財務諸表	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	21
(3) 株主資本等変動計算書	23
6. その他	26
(1) 役員の変動	26
(2) その他	27

## 1. 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要を背景として、緩やかな回復の動きが見られましたが、欧州債務問題や中国の景気減速の影響を受けて、再び弱い動きとなり、総じて、先行き不透明な状況が継続することとなりました。

こうした環境下、当社グループの主たる事業分野であります百貨店業界におきましては、宝飾・美術品などの高額商品、プライベートギフト関連商材に堅調な動きが見られましたものの、主力商材であります衣料品については、競合の激化などにより苦戦を強いられ、一進一退の商況で推移いたしました。

こうした中、当社は業績の向上に向けて、夏季期間中、屋上にビアガーデンをオープンしたほか、秋には来店顧客の増加や既存売場とのシナジー効果の発揮を狙い、新たに丸善書店を導入するなど、引き続き魅力ある売場づくりに取り組んでまいりました。また、店舗運営におけるローコストオペレーションを一層推進するとともに、コスト構造の見直しを図り、経営効率の向上にも努めてまいりました。

当連結会計年度における当社グループの売上高は261億6百万円(前年同期比96.6%)となりました。利益面では、営業利益2億6千4百万円(前年同期比54.7%)、経常利益は9千5百万円(前年同期比52.2%)となりましたが、特別損失として固定資産除却損など5億1千2百万円を計上いたしました結果、当期純損失4億2千1百万円(前年同期は当期純利益3億6千7百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 〔百貨店業〕

百貨店業におきましては、上層階への丸善書店の導入や、新ショップの出店によるヤング・ニューキャリアフロアの鮮度の維持・活性化、更に食品フロアにおける「旬彩広場」の新設など、積極的なスクラップ&ビルドを推し進めてまいりました。また、好評を博しました屋上ビアガーデンのオープンや「青森・岩手・宮城・福島 東北四県の物産と観光展」の新規開催など、集客力の強化と全館への波及効果による売上高の向上に努めてまいりました。

しかしながら、百貨店業の売上高は232億5千9百万円(前年同期比97.1%)となり、利益面につきましては、更なる費用対効果の追求と経費削減に努めましたが、営業損失3百万円(前年同期は営業利益1億1千9百万円)となりました。

#### 〔不動産賃貸業〕

不動産賃貸業におきましては、不動産市況の停滞傾向が続く中、空室率の低減に取り組みましたが、売上高は17億7千9百万円(前年同期比93.1%)となり、営業利益は6億6千9百万円(前年同期比86.2%)となりました。

#### 〔その他〕

その他におきましては、運送業、清掃業及び百貨店店舗内において友の会事業を運営しており、売上高は10億6千7百万円(前年同期比91.9%)となり、営業損失は1千8百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。

### 次期の見通し

今後の経済環境につきましては、安倍新政権の積極的な金融・財政政策や成長戦略による景気の早期回復が期待されますが、対外経済環境を巡る不確実性は依然として高いなど、景気を下振れさせる懸念材料もあり、先行きの見通しは予断を許さない状況が継続するものと予測されます。

百貨店業界におきましても、一部では雇用・所得環境に改善の兆しも見えますが、消費者の節約志向は依然根強いものがあり、業態間の競争激化の状況も踏まえ、取り巻く環境は一層厳しさを増すものと認識いたしております。

こうした厳しい経営環境下にあつて、当社は、本年8月に会社設立70周年を迎えます。この記念すべき節目に際し、「伝統と感謝」を基盤に、地域に愛される「丸栄ブランド」の確立を目指し、全社一丸となって邁進する所存です。

また、衣料品販売での競争力強化を優先課題として捉え、とりわけ当社の強みであるヤングファッションを中心に、更なる衣料品販売の拡充を図ってまいります。同時に、より一層、費用対効果の向上に努め、経営効率の高い店舗運営体制を確立し、百貨店事業の再構築を目指します。

加えて、当社グループとして、安定した利益を確保するために、抜本的なコスト構造の見直しに取り組む一方、コンプライアンス重視の社内環境の整備を図るなど、皆様から信用・信頼される企業づくりに取り組んでまいります。

平成26年2月期における連結業績の見通しにつきましては、売上高は262億円、営業利益は4億5千万円、経常利益は2億7千万円、当期純利益1億1千万円を見込んでおります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## (2) 財政状態に関する分析

### (資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億9千4百万円減少し、469億1百万円となりました。これは流動資産が3億4千1百万円減少し、固定資産が9億5千6百万円減少したことなどによります。流動資産の減少については、商品が1億3百万円減少したことなどにより、固定資産の減少については、除却及び減価償却費等により建物及び構築物が7億3千7百万円減少したことなどによります。

### (負債)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億7千2百万円減少し、267億1千2百万円となりました。これは流動負債が6億6千7百万円減少し、固定負債が2億4百万円減少したことによります。流動負債の減少については、短期借入金が7億円減少したことなどにより、固定負債の減少については、長期借入金が1億9千万円減少したことなどによります。

### (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億2千2百万円減少し、201億8千8百万円となりました。これは、当期純損失4億2千1百万円により、利益剰余金が同額減少したことなどによるものであります。

## キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ8千3百万円減少し、12億6千4百万円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ1億9千1百万円増加し、8億3千7百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失が4億6百万円、減価償却費8億1千3百万円、固定資産除却損5億1千1百万円等の調整によるものと仕入債務の減少額1億2千9百万円等によるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億8百万円となりました。（前連結会計年度は1億9千2百万円の収入）これは主に、投資有価証券の売却による収入1億2千5百万円、有形固定資産の取得による支出2億9千9百万円、有形固定資産の除却による支出9千4百万円等によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ2億9千6百万円減少し、7億1千2百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減額7億円、長期借入れによる収入40億円及び長期借入金の返済による支出39億8千1百万円等によるものです。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、将来を見据え経営基盤の強化を図りつつ、安定的な利益配分を行うことを第一に、当社グループの業績及び経済情勢等を勘案しながら、適正な利益配分を行なうことを基本方針としております。従いまして、利益の確保と自己資本の充実を図りつつ、配当水準の維持・向上に努めてまいります。

なお、当連結会計年度の配当につきましては、厳しい経営環境と諸般の状況を慎重に勘案し、誠に遺憾ながら見送らせていただくことといたしました。

2. 企業集団の状況

当社の企業集団は、当社、子会社6社及び関連会社1社で構成され、百貨店を中心とし、これに附帯する関連事業として不動産賃貸業、その他を行っております。

- |        |       |   |
|--------|-------|---|
| 百貨店業   | …………… | 当社が営んでおります。また、㈱新田中は当社の百貨店本館の土地建物の一部を保有する会社であり、百貨店業に含めております。                     |
| 不動産賃貸業 | …………… | 当社及び連結子会社栄インベストメント(有)、栄インベストメント一般社団法人、関連会社栄地下センター㈱が営んでおります。                     |
| その他    | …………… | 連結子会社㈱栄工社が運送業を、連結子会社㈱丸栄エイセイクリーンが清掃業を、連結子会社㈱丸栄友の会が前払式買物券による商品売上の取次を、それぞれ営んでおります。 |

3. 経営方針

平成23年2月期決算短信(平成23年4月14日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は次のURLからご覧いただくことができます。

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

4. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当連結会計年度 (平成25年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,358	1,276
受取手形及び売掛金	595	560
商品	528	424
貯蔵品	26	24
その他	903	782
貸倒引当金	△147	△145
流動資産合計	3,264	2,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,895	26,462
減価償却累計額	△17,423	△17,727
建物及び構築物(純額)	9,472	8,734
工具、器具及び備品	1,148	1,199
減価償却累計額	△939	△938
工具、器具及び備品(純額)	209	261
土地	30,433	30,433
その他	31	25
減価償却累計額	△23	△20
その他(純額)	7	5
有形固定資産合計	40,123	39,435
無形固定資産		
のれん	1,425	1,342
その他	80	60
無形固定資産合計	1,505	1,402
投資その他の資産		
投資有価証券	2,493	2,428
長期貸付金	428	340
差入保証金	193	188
繰延税金資産	9	7
その他	158	150
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,281	3,115
固定資産合計	44,910	43,954
繰延資産		
社債発行費	21	24
繰延資産合計	21	24
資産合計	48,196	46,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当連結会計年度 (平成25年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,866	1,736
短期借入金	2,400	1,700
1年内返済予定の長期借入金	3,658	3,867
1年内償還予定の社債	475	470
未払費用	237	436
未払法人税等	14	30
賞与引当金	2	1
ポイント引当金	45	50
未使用商品券等引当金	351	311
その他	2,597	2,378
流動負債合計	11,649	10,982
固定負債		
社債	705	715
長期借入金	7,874	7,684
再評価に係る繰延税金負債	3,998	3,998
繰延税金負債	2,091	2,089
退職給付引当金	305	316
長期預り保証金	594	553
その他	365	372
固定負債合計	15,935	15,730
負債合計	27,585	26,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	1,148	727
自己株式	△107	△107
株主資本合計	13,269	12,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	12
土地再評価差額金	7,328	7,328
その他の包括利益累計額合計	7,341	7,341
純資産合計	20,611	20,188
負債純資産合計	48,196	46,901



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
売上高	27,036	26,106
売上原価	21,482	20,878
売上総利益	5,553	5,227
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	269	281
販売手数料	123	121
役員報酬及び給料手当	1,760	1,707
従業員賞与	94	83
賞与引当金繰入額	2	1
退職給付費用	79	78
福利厚生費	223	220
賃借料	361	337
光熱費	285	292
租税公課	254	254
減価償却費	616	599
その他	997	984
販売費及び一般管理費合計	5,071	4,963
営業利益	482	264
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	8	6
受取手数料	23	18
持分法による投資利益	39	54
売場改装協力金	96	104
雑収入	18	17
営業外収益合計	202	215
営業外費用		
支払利息	273	260
雑支出	229	123
営業外費用合計	503	384
経常利益	182	95
特別利益		
投資有価証券売却益	467	11
その他	10	—
特別利益合計	477	11

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
特別損失		
減損損失	27	—
固定資産除却損	366	511
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	158	—
その他	18	1
特別損失合計	570	512
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	89	△406
法人税、住民税及び事業税	9	15
法人税等調整額	△287	△0
法人税等合計	△277	15
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整 前当期純損失 (△)	367	△421
当期純利益又は当期純損失 (△)	367	△421

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整 前当期純損失 (△)	367	△421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△0
土地再評価差額金	577	—
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	588	△0
包括利益	956	△421
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	956	△421
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	8,187	9,937
当期変動額		
新株の発行	1,750	—
当期変動額合計	1,750	—
当期末残高	9,937	9,937
<b>資本剰余金</b>		
当期首残高	5,499	2,290
当期変動額		
新株の発行	1,750	—
欠損填補	△4,958	—
当期変動額合計	△3,208	—
当期末残高	2,290	2,290
<b>利益剰余金</b>		
当期首残高	△4,177	1,148
当期変動額		
欠損填補	4,958	—
当期純利益又は当期純損失(△)	367	△421
当期変動額合計	5,326	△421
当期末残高	1,148	727
<b>自己株式</b>		
当期首残高	△106	△107
当期変動額		
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0
当期末残高	△107	△107
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	9,402	13,269
当期変動額		
新株の発行	3,500	—
欠損填補	—	—
当期純利益又は当期純損失(△)	367	△421
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	3,866	△421
当期末残高	13,269	12,847

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	1	13
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	11	△0
当期変動額合計	11	△0
当期末残高	13	12
土地再評価差額金		
当期首残高	6,751	7,328
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	577	—
当期変動額合計	577	—
当期末残高	7,328	7,328
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,752	7,341
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	588	△0
当期変動額合計	588	△0
当期末残高	7,341	7,341
純資産合計		
当期首残高	16,155	20,611
当期変動額		
新株の発行	3,500	—
欠損填補	—	—
当期純利益又は当期純損失（△）	367	△421
自己株式の取得	△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	588	△0
当期変動額合計	4,455	△422
当期末残高	20,611	20,188

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	89	△406
減価償却費	853	813
のれん償却額	83	83
減損損失	27	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7	11
未使用商品券等引当金の増減額 (△は減少)	△50	△40
受取利息及び受取配当金	△25	△19
支払利息	273	260
固定資産除却損	366	511
投資有価証券評価損益 (△は益)	6	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△457	△11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	158	—
売上債権の増減額 (△は増加)	29	34
たな卸資産の増減額 (△は増加)	105	105
仕入債務の増減額 (△は減少)	△146	△129
未払消費税等の増減額 (△は減少)	12	△28
その他	△386	△124
小計	935	1,058
利息及び配当金の受取額	30	26
利息の支払額	△269	△239
法人税等の支払額	△50	△7
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>646</b>	<b>837</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	522	125
有形固定資産の取得による支出	△263	△299
有形固定資産の除却による支出	△52	△94
貸付金の回収による収入	111	88
差入保証金の差入による支出	△51	△0
差入保証金の回収による収入	52	4
預り保証金の返還による支出	△127	△57
預り保証金の受入による収入	17	32
その他	△14	△5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>192</b>	<b>△208</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△800	△700
長期借入れによる収入	6,316	4,000
長期借入金の返済による支出	△6,086	△3,981
社債の発行による収入	290	584
社債の償還による支出	△720	△595
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△0
その他	△8	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,009	△712
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△170	△83
現金及び現金同等物の期首残高	1,518	1,347
現金及び現金同等物の期末残高	1,347	1,264

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。



(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは百貨店業を中心に不動産賃貸業や運送業等を展開しており、サービス内容・経済的特徴を考慮した上で集約し、「百貨店業」、「不動産賃貸業」を報告セグメントとしております。

「百貨店業」は主として衣料品、身の回り品、家庭用品、食料品等の販売を行う百貨店事業を行っております。「不動産賃貸業」は、オフィスや店舗の賃貸等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,963	1,911	25,874	1,161	27,036	—	27,036
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	158	163	729	892	△892	—
計	23,968	2,070	26,038	1,891	27,929	△892	27,036
セグメント利益又は損失(△)	119	776	895	△8	887	△404	482
セグメント資産	26,819	19,157	45,977	1,481	47,458	737	48,196
その他の項目							
減価償却費	602	252	855	7	862	△9	853
のれんの償却額	83	—	83	—	83	—	83
持分法適用会社への投資額	—	1,093	1,093	—	1,093	—	1,093
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	200	8	208	1	210	△2	207

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△404百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△411百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

(2) セグメント資産の調整額737百万円には、セグメント間取引消去△1,203百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,941百万円が含まれております。全社資産は、主に提出会社の余資運用資金、投資有価証券等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,259	1,779	25,038	1,067	26,106	—	26,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	163	168	794	963	△963	—
計	23,264	1,943	25,207	1,862	27,069	△963	26,106
セグメント利益又は損失(△)	△3	669	666	△18	647	△383	264
セグメント資産	25,908	18,877	44,785	1,528	46,314	587	46,901
その他の項目							
減価償却費	588	230	819	3	822	△9	813
のれんの償却額	83	—	83	—	83	—	83
持分法適用会社への投資額	—	1,142	1,142	—	1,142	—	1,142
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	353	12	366	—	366	△3	363

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△383百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△389百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。
- (2) セグメント資産の調整額587百万円には、セグメント間取引消去△1,267百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,854万円が含まれております。全社資産は、主に提出会社の余資運用資金、投資有価証券等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
1株当たり純資産額	158.69円	155.44円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	3.65円	△3.24円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 算定上の基礎

1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)

項目	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	367	△421
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は 普通株式に係る当期純損失(△)(百万円)	367	△421
期中平均株式数 (株)	100,725,717	129,885,197

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当事業年度 (平成25年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	542	433
受取手形	3	1
売掛金	460	457
商品	528	424
貯蔵品	25	24
前払費用	73	59
関係会社短期貸付金	280	280
未収入金	527	494
その他	70	67
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	2,502	2,235
固定資産		
有形固定資産		
建物	22,520	22,100
減価償却累計額	△14,907	△15,089
建物(純額)	7,613	7,010
工具、器具及び備品	1,131	1,200
減価償却累計額	△924	△940
工具、器具及び備品(純額)	207	259
土地	17,844	17,844
有形固定資産合計	25,665	25,115
無形固定資産		
借地権	0	0
施設利用権	40	40
ソフトウェア	33	14
無形固定資産合計	73	55
投資その他の資産		
投資有価証券	1,395	1,285
関係会社株式	5,170	5,203
関係会社出資金	550	550
長期貸付金	428	340
関係会社長期貸付金	6,600	6,320
差入保証金	188	185
長期前払費用	24	20
長期未収入金	2,573	2,697
その他	121	120
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	17,052	16,722
固定資産合計	42,792	41,892

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当事業年度 (平成25年2月28日)
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	21	24
繰延資産合計	21	24
資産合計	45,315	44,152
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	373	392
買掛金	1,368	1,263
短期借入金	2,590	2,030
1年内返済予定の長期借入金	3,658	3,867
1年内償還予定の社債	445	440
リース債務	9	26
未払金	80	16
未払費用	234	421
未払法人税等	13	21
前受金	49	44
預り金	1,045	986
商品券	1,077	986
賞与引当金	1	1
ポイント引当金	45	50
未使用商品券等引当金	284	254
債務保証損失引当金	124	—
設備関係支払手形	24	1
その他	1	1
流動負債合計	11,427	10,805
固定負債		
社債	600	640
長期借入金	7,874	7,684
リース債務	30	83
再評価に係る繰延税金負債	3,998	3,998
繰延税金負債	760	758
退職給付引当金	243	258
長期預り保証金	359	348
資産除去債務	161	164
その他	161	116
固定負債合計	14,189	14,053
負債合計	25,617	24,858

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当事業年度 (平成25年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金		
資本準備金	2,290	2,290
資本剰余金合計	2,290	2,290
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	235	△166
利益剰余金合計	235	△166
自己株式	△107	△107
株主資本合計	12,356	11,954
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	11
土地再評価差額金	7,328	7,328
評価・換算差額等合計	7,340	7,339
純資産合計	19,697	19,294
負債純資産合計	45,315	44,152

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
売上高		
商品売上高	23,980	23,276
不動産賃貸収入	1,072	998
売上高合計	25,052	24,275
売上原価		
商品売上原価		
商品期首たな卸高	631	528
当期商品仕入高	19,393	18,888
合計	20,025	19,416
商品期末たな卸高	528	424
小計	19,497	18,992
不動産賃貸原価	566	532
売上原価合計	20,063	19,524
売上総利益	4,988	4,750
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	397	405
販売手数料	201	188
配送費	154	150
役員報酬及び給料手当	1,230	1,178
従業員賞与	69	63
賞与引当金繰入額	1	1
退職給付費用	74	71
福利厚生費	171	169
賃借料	612	597
光熱費	260	265
租税公課	203	205
減価償却費	586	571
その他	967	957
販売費及び一般管理費合計	4,929	4,825
営業利益又は営業損失(△)	59	△75
営業外収益		
受取利息	124	114
受取配当金	409	330
売場改装協力金	96	104
雑収入	39	37
営業外収益合計	670	586
営業外費用		
支払利息	308	293
雑支出	197	112
営業外費用合計	506	406
経常利益	223	104

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
<b>特別利益</b>		
投資有価証券売却益	467	10
その他	10	—
特別利益合計	477	10
<b>特別損失</b>		
減損損失	27	—
固定資産除却損	366	511
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	158	—
その他	18	1
特別損失合計	570	512
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	130	△397
法人税、住民税及び事業税	4	4
法人税等調整額	△108	—
法人税等合計	△104	4
当期純利益又は当期純損失 (△)	235	△401



(3) 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
<b>株主資本</b>		
資本金		
当期首残高	8,187	9,937
当期変動額		
新株の発行	1,750	—
当期変動額合計	1,750	—
当期末残高	9,937	9,937
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	5,499	2,290
当期変動額		
新株の発行	1,750	—
資本準備金の取崩	△4,958	—
当期変動額合計	△3,208	—
当期末残高	2,290	2,290
その他資本剰余金		
当期首残高	—	—
当期変動額		
資本準備金の取崩	4,958	—
欠損填補	△4,958	—
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
資本剰余金合計		
当期首残高	5,499	2,290
当期変動額		
新株の発行	1,750	—
資本準備金の取崩	—	—
欠損填補	△4,958	—
当期変動額合計	△3,208	—
当期末残高	2,290	2,290
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	△4,958	235
当期変動額		
欠損填補	4,958	—
当期純利益又は当期純損失(△)	235	△401
当期変動額合計	5,193	△401
当期末残高	235	△166
利益剰余金合計		
当期首残高	△4,958	235

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
当期変動額		
欠損填補	4,958	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	235	△401
当期変動額合計	5,193	△401
当期末残高	235	△166
自己株式		
当期首残高	△106	△107
当期変動額		
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0
当期末残高	△107	△107
株主資本合計		
当期首残高	8,621	12,356
当期変動額		
新株の発行	3,500	—
資本準備金の取崩	—	—
欠損填補	—	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	235	△401
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	3,734	△402
当期末残高	12,356	11,954
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	1	12
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	10	△0
当期変動額合計	10	△0
当期末残高	12	11
土地再評価差額金		
当期首残高	6,751	7,328
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	577	—
当期変動額合計	577	—
当期末残高	7,328	7,328
評価・換算差額等合計		
当期首残高	6,752	7,340
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	588	△0
当期変動額合計	588	△0
当期末残高	7,340	7,339

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
純資産合計		
当期首残高	15,374	19,697
当期変動額		
新株の発行	3,500	—
資本準備金の取崩	—	—
欠損填補	—	—
当期純利益又は当期純損失(△)	235	△401
自己株式の取得	△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	588	△0
当期変動額合計	4,323	△403
当期末残高	19,697	19,294

6. その他

(1) 役員の変動 (平成25年5月23日付予定)

・新任取締役候補

取締役 濱島 吉充 (現 当社 監査役)

・退任予定取締役

取締役 早川 和美 ※会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

・新任監査役候補

監査役 北田 勝久 (現 興和紡株式会社 監査役)  
※会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

監査役 早川 和美 (現 当社 取締役)

・退任予定監査役

監査役 濱島 吉充 ※会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

(2) その他

売上高の明細

	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	前年比(%)
紳士服・洋品	593	2.5	82.0
婦人服・洋品	8,517	35.1	90.4
子供服・洋品	266	1.1	99.3
その他の衣料品	812	3.3	99.2
(衣料品計)	10,190	42.0	90.7
身のまわり品	1,860	7.7	89.9
家具	395	1.6	84.5
家電	2	0.0	32.6
家庭用品	284	1.2	79.7
(家庭用品計)	682	2.8	81.9
食料品	5,910	24.3	97.0
食堂・喫茶	403	1.7	195.0
雑貨	3,577	14.7	125.0
サービス	174	0.7	93.9
その他	1,476	6.1	94.0
合計	24,275	100.0	96.9